

京都市子ども安全ネットワークニュース

Vol. 14 平成 20 年 7 月発行：京都市子ども安全会議事務局

教育委員会体育健康教育室 Tel.213-5472 http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/soshiki/29-4-0-0-0_2.html

子どもの安全確保に向け、学校・家庭・地域・関係機関が協働！ ～「京都市子ども安全会議」を開催～

6 月 24 日（火）、「京都市子ども安全会議」（※）を、京都市総合教育センターで開催しました。同会議には、安心・安全なまちづくりに取り組んでいる京都府警察本部や京都市の総合企画局、文化市民局の代表も出席され、共に認識を深めました。



《会議概要》

- ◎ 地域ぐるみで取り組まれている子ども安全の現状について報告があり、今年度は、「学校安全ボランティア講習会」を教育委員会と共催で3回実施することを確認。合わせて、「子ども安全」から「地域の安心・安全」確保へ発展させる必要性を共通認識した。
- ◎ 出席委員それぞれの立場から、今後の取組推進に向けた意見が熱心に交換された。（以下、主な意見）
 - ◆ 総合支援学校に通う子どもたちについて、居住学区においてもっと存在を知ってほしい、理解を深めてほしい。そのためには、保護者間のつながりが大切。
 - ◆ 子どもの安心・安全を確保するためには、行政機関においても各部署毎の対応ではなく、十分に連携し、施策の推進を図る必要がある。
 - ◆ 例えば、朝に門掃きなどの清掃活動をしている企業の協力を得るなどし、子どもの見守り活動をさらに広げていけないか。
 - ◆ 子ども自身に、危険を予測し自らその危険を回避する能力を育成することが大切である。

※「京都市子ども安全会議」とは：

人づくり21世紀委員会、PTA連絡協議会、地域生徒指導連合会、「おやじの会」連絡会、学校保健会、校長・園長会、教育委員会の代表などで構成。平成16年4月設置。

子どもを共に育む 京都市民憲章



社会のあらゆる場で実践し、
行動の輪を広げましょう！

各校区の事例紹介 地域ぐるみの子ども安全活動の取組

深草小学校区

1 深草小学校安心・安全ボランティア会の活動

平成17年度、学校運営協議会に「学校安全ボランティア委員会」を設置。昨年、「深草小学校安心・安全ボランティア会」という名称で、規約を作り、地域の自主的な組織として立ち上げた。

- * 登下校時の見守り活動。
- * 「地域ぐるみの安全」の啓発活動。

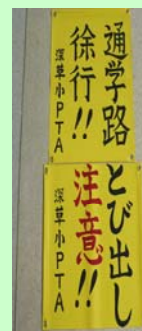


2 PTAの活動

- * 校区内の危険箇所をパトロールし、土木事務所や伏見署と対策を相談。
- * 声かけ運動や登校班の引率。
- * 校区内の電信柱に「ドライバーに注意を呼びかける表示幕」を設置。
- * 「危険な場所」「こども110番のいえ」を表示した「安全マップ」を配布。

3 交通安全推進委員会の活動

- * 毎年1回、「深草交通安全の日」（昨年は12月9日、300名参加）を定め、地域の交通安全に関する啓発などの取組を実施。
- * PTAと連携して、小学生対象の自転車教室を実施。



上賀茂小学校区

1 学校の様子

現在、児童数は550名であり、北は上賀茂神社・大田神社、南は北山通・植物園、東は深泥池、西は賀茂川と広い範囲から子どもたちが通学している。また、校区の中には、8つの公園があり、子どもたちの遊ぶ姿がよく見られる。上賀茂スクールガード隊は子どもたちの安心・安全のために平成18年4月に発足した。



2 活動内容

上賀茂スクールガード隊として、現在141名のメンバーが活動している。校区を4つのブロックに分け、登下校時に各交差点に立ち、子どもたちを見守るだけでなく、犬の散歩路を子どもたちの通学路と合わせて、いっしょに登校するなど、見守り活動の輪を広げる取組を定着させている。

また、PTAにおいても、PTAスクールガード隊があり、自転車の「パトロール中」というプレート作戦、オレンジ帽子作戦により、常に多くの目で見守るための取組を進めている。

3 子どもたちの様子

子ども達と毎日挨拶を交わすことで、信頼関係も広がり、子どもたちも心を開いて話す姿が見られるようになってきた。「家庭でのこと」「学校でのこと」などを話しこむ児童や、校区内で出会ったときに自分から挨拶する児童が増えてきた。また、3月には児童会で「スクールガード隊の方に感謝する会」を開き、感謝の気持ちを伝えることができた。